

牧師 山本護 司式 露木淳司 奏楽 花曲琴音 ※讃美歌は二番までうたいます

前奏	黙想	祈禱	
讃美歌	59 かみのめぐみ	讃美歌	280 わが身ののぞみは
祈禱		献金	
信仰告白	使徒信条 566	讃詠	547 いまささぐるそなえものを
聖書	申命記 31:6 ルカによる福音書 5:1~6	黙禱	
讃美歌	191 いのちのきみにます主よ	主の祈り	564
説教	『キリストの舟に乗る』	頌栄	539 あめつちこぞりて
		祝禱	後奏

ペトロら若い漁師がイエスの弟子になる場面。ルカ福音書では他福音書のように「通りがかった見知らぬ男(イエス)に声かけられて」というものではない。すでにイエスは、ペトロの姑の病を癒していた(ルカ 4:39)、諸会堂で定期的に教えてもいた(ルカ 4:31,44)。このあたり一帯では評判高いラビとして、イエスはよく知られていた(4:42,5:1)。そうした状況の中で、若い漁師たち(5:10)が弟子になった(5:11)。

イエスが教えたのは伝統的な会堂だけに留まらない。湖畔に立てば、その時、そこが教えの場となった(5:1)。讃美する群衆(5:1)と裏腹に、湖畔では不漁(5:5)のため沈んだ面持ちの漁師たちが網を洗っている(5:2)。イエスはペトロの小舟に乗り込み、「腰を下ろして舟から群衆に教え始められた(5:3)」。この情景は鮮明だ。朝の静寂の中、岸边には群衆、声が届く距離に舫った舟からイエスは語っている。

「あっ、これは教会だ」と私は直感した。制度的に教会は、聖霊降臨の後に形成されていくのだが、これこそ教会の原型ではないか、と思った。岸边で教えを聞くだけでなくキリストの舟に同乗する。キリストの小舟で私たちは、嵐で混乱することもある(8:23)。眠っているイエスを叩き起こせば(8:24)、嵐は鎮められ、「おいおい、お前さんたちの信仰はどうしたんだね、俺はここにいるよ(8:25)」とたしなめられるだろう。教会はゆれ動くが、どこへでも行ける。だから、示された所へ漕ぎ出せる(8:22)。

救いをひと通り語るとイエスは、ペトロに「これから沖へ出て、漁をしてみないか(5:4)」とうながした。ペトロは獲れるはずの夜の漁でもダメだったのに今やっても無駄、と経験的に知っていた(5:5)。評判のラビとはいえド素人の気まぐれも困ったものだ、とも思った。だがしぶしぶ従ってみると(5:5)、大漁になり(5:6)、その豊漁ぶりは前代未聞だった(5:7)。この「大漁」は、何かの徴だろうか。

「大漁とは宣教の成果」とよく言われる。信徒が増え、財政が安定し、教会の諸活動が評価される。しかしそれは手前味噌、願望の投影じゃないか。文脈で見れば、数名の漁師が「すべてを捨ててイエスに従った(5:11)」ことが大漁の結末。ペトロは大漁に浮かれることなく、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです(5:8)」と悔い改めた。この悔い改めこそが「大漁」の実質だ。

誰であっても当たり前だが、ペトロは自分の経験則で判断していた(5:5)。子供の頃から漁師(板子一枚下は地獄)ひと筋、命がけでやって来たから、自負も相当なものだった。性格や体験、幾らかのチャンスや冒険心といった、自分なりの枠組みを獲得して生きていく。私たちだってそうだろう。ペトロは夜の漁で疲れきっていたが、どうしてかイエスの無理難題に不可解なまま従った(5:5)。不可解を感じた時に動く、こうした「無駄な労力」は見習いたい。その結果、信じられない大漁を得た(5:6)。

漁師たちは驚き、喜んだ。そしてそれ以上に恐れ、混乱した。するとイエスは「恐れるな(5:10)」と釘を刺す。「恐れるな」とは降誕に際して、マリア(1:30)や羊飼(2:10)に語られた言葉。「恐れるな」という神的な言葉で、彼らは「キリストの舟」に乗り込み、固定された古い自分の岸から漕ぎ出す。

イエスのまなざしは讃美する群衆にではなく、がっくり気を落として網を洗う者たちに向けられていた(5:2)。私たちがキリストを讃美する以上に、キリストは打ちひしがれた私を深く見ておられる。

私が讃美しているキリストより うつむいた背中をじっと見つめるキリストのまなざしこそが救い そのまなざし 自分の背にむけられているか 気分が落ちてうつむいている時に ふと感じられる

次主日 2/6 は礼拝後に役員会。コロナのオミクロン、無症状者が増えているらしく、ここは用心して礼拝後のお茶は中断。席の分散・ロフト席・集会所をうまく使って、三密対策にご協力ください。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。